

当院でリハビリテーションを受けられた患者さん・ご家族様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療記録（カルテ）にある情報をまとめるものであり、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありません。また、研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に「情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出により不利益が生じることは一切ありません。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2016年10月～2023年12月の間にリハビリテーションを開始した方

【研究課題名】急性期脳卒中例に対するリハビリテーション効果の客観的評価に関する研究

【研究責任者】国立循環器病研究センター 脳血管リハビリテーション科医長 横田千晶

【研究の意義・目的】

本研究は、これまでのカルテ情報等を解析し、脳卒中重症度別、リハビリテーション法別の機能改善効果を明らかにすることを目的としています。本研究の成果は、将来的に病態にあった最も適切なリハビリテーション法の開発に繋がることが期待されます。

【利用する診療情報】

- ① 基本情報：年齢、性別、身長、体重、社会的情報（自宅環境、家族構成、職業、経済状況、介護認定の状況）、循環器病の危険因子の有無（高血圧、糖尿病、脂質異常症、心房細動）、危険因子に関連した採血・採尿結果、診断名（病型、初発/再発）、入院期間、リハビリ実施期間、退院先、合併疾患の有無（脳卒中既往、虚血性心疾患、大動脈疾患、末梢動脈疾患）、リハビリテーションの方法、急性期脳梗塞治療法
- ② 身体機能評価：脳卒中重症度、身体能力、歩行能力、手指の作業能力、筋力、自覚的な垂直軸（まっすぐと感ずる方向）
- ③ 日常生活動作評価：自力でどの程度日常生活動作が可能かの検査、活動量測定値
- ④ 認知機能評価：もの忘れの程度を調べる検査、言葉の検査
- ⑤ やる気スコア：やる気を判定するスコア
- ⑥ 訓練量：入院中の訓練に費やした時間、歩行訓練を開始した時期
- ⑦ 在院日数
- ⑧ 発症後3ヶ月間の脳卒中再発や症状増悪、心筋梗塞・大動脈疾患発症の有無
- ⑨ 生活の質・社会復帰/復職の有無の評価：質問用紙の回答結果の集計

【研究期間】2016年10月1日より2024年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

この研究で得られた情報を将来、二次利用する可能性や研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て、研究統括管理責任者の許可を受けて実施されます。二次利用する際に文書を公開する場合は、国立循環器病研究センター 公式サイト (<http://www.ncvc.go.jp>) の「実施中の臨床研究」のページに掲載いたします。

【お問合せ】 国立循環器病研究センター 脳血管リハビリテーション科医長 横田千晶
電話 06-6170-1070(代表)